

大館市環境マネジメントシステムの取り組み状況

問 生活環境課

☎ 49—3111（内線371）

市では、環境保全・環境汚染防止に配慮した活動を継続的に行っていくために、環境マネジメントシステムを運用しています。今回は、平成17年度1年間の主な取り組み状況をお知らせします。

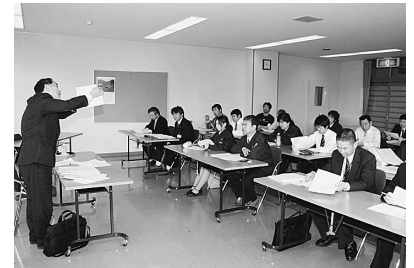
下の表は、目標値と実績平成17年度数値（を項目ごと）に表したものです。

公用車燃料の未達成は、平成18年豪雪の影響で、除雪車両や関係車両で燃料を多く使用したためです。また、電力の使用量は、市庁舎で平成17年度の夏季からエアコンを使用したため、使用量が増加したものです。

適用範囲を拡大しました

平成17年度の33部門から18年度は43部門にシステムの適用範囲を拡大し、比内・田代総合支所でも運用を開始しました。

また、今年は3年に1回の更新審査に当たります。審査時には、拡大された範囲とこれまで審査を受けた範囲の更新と同時に審査を受けます。



内部監査員養成研修会の様子

大館市EMSネットを平成17年9月に設立しました

大館市EMSネットとは、ISO14001を取得した市内の企業や行政の集合体で、設立時には7事業所が会員となりました。会員が合同で研修会を実施するなど相互に協力しながら、全体で環境マネジメントシステムの効率的運用・成熟を図ることを目的としています。また、行政、企業、民間団体及び市民に至るまでの幅広い層へ、環境保全意識の普及や環境保全活動の啓発を行い、環境への負荷を少なくしながら持続的発展を可能にする地域社会づくりに寄与することを目指しています。

大館市EMSネットが「内部監査員養成研修会」を開催

今年の5月11・12日に大館市EMSネットの最初の事業として、内部監査員養成研修会を開催したところ、大館市を含む5組織から21人が参加、全員が修了試験に合格し、内部監査員の資格を習得しました。

17年度の主な目標と実績

環 境 目 標	実 績
地域の環境保全活動の振興のため、大館市環境基本計画に掲げる事項を実施する	各町内春季一斉クリーンアップ、地区清掃ボランティアのごみ回収、カラス被害対策などを実施した
公民館で実施する主要な講座や教室の中で環境問題に関する学習を取り入れる	夏休み親子キャンプ（釈迦内公民館） 自然散策会（長木公民館） 花いっぱい運動（花岡公民館）
平成17年度の二酸化炭素排出量を12年度対比2.5%削減する	17年度二酸化炭素削減量 12.93%
合併浄化槽の設置整備補助基数を50基とする。	設置整備補助基数 78基設置
公有林の除間伐20ha 実施	除間伐実施面積 21.96ha
私有林の除間伐20ha 実施	除間伐実施面積 20.41ha
公共下水道普及率を27.5%	公共下水道の普及率 28.8%
公共下水道の水洗化戸数を4,850戸とする。	平成17年度末水洗化戸数 4,962戸（平成17年度新設 313戸）

環 境 目 的	達 成 状 況	
一般廃棄物排出量を24,500kg以下とする	平成17年度排出量21,064.5kg 3,435.5kg削減	
電力使用量を422,000kWh以下とする	平成17年度使用量456,909kWh 34,909kWh増加 未達成	
水の使用量を6,500m ³ 以下とする	平成17年度使用量5,264.0m ³ 1,236.0m ³ 削減	
本庁舎のプロパンガス使用量を1,700m ³ 以下とする	平成17年度使用量1,374.1m ³ 325.9m ³ 削減	
事務用紙の使用量を4,400,000枚以下とする	平成17年度使用量4,173,906枚 226,094枚削減	
グリーン購入の推進 環境物品等の調達割合を90%以上とする	[件数] 基準適合 3,465件 対 象 3,568件 調 達 率 97%	[金額] 75,341,700円 77,158,145円 97%
公用車用燃料の使用量を64,500ℓ以下とする	平成17年度使用量100,587.8ℓ 36,087.8ℓ増加 未達成	
暖房用重油、灯油などの使用量を118,400ℓ以下とする	平成17年度使用量100,495.1ℓ 17,904.9ℓ削減	
ごみ分別、減量を徹底し、17年度のリサイクル率を12.0%とする	平成17年度リサイクル率 13.6%	
生ごみ300t、鶏ふん2,700tを堆肥化する	生ごみ処理量 255.47t 鶏ふん処理量 2,683.94t	
選挙用ポスター掲示板を全てリサイクルする	全て再生紙ボードを使用し、使用後はリサイクルした	